

つなまち

2021年4月20日発行

No.219

3月定例会 2/25~3/12

町長施政方針	02
令和3年度予算	03
一般会計・特別会計討論	04~05
総括質疑	06
陳情・発議、予算採決結果、人事、表彰	07
一般質問 町政を問う	08~14
委員会レポート	15
町民登場	16

空からの救援で命をつなぐ



津南町議会

検索

令和3年度 町長施政方針

昭和30年町制施行以来66年という長い年月の間、先人達の果敢な挑戦と不断の努力により今の津南町があると実感しています。さらに私の基本理念である「希望と愛、参加できるまちづくり」を通じ、持続可能でここに住むことを誇りに思える町へ導いていくことが使命と考えています。

コロナ禍で地方の関心の高まりを好機ととらえ人口減少のスピードを食い止め安定した町政を将来にわたって築いていけるよう各種対策を進めてまいります。

予算総計

当町の一般会計総額は前年度比8.3%増の70億8,800万円、特別会計の総額は前年度比2.6%増の52億7,403万円、合計は前年度比5.8%増の123億6,203万円となりました。

主な歳入状況

歳入について町税では新型コロナウイルス感染症の影響を受け町民税、固定資産税とも減少となります。国庫支出

金は保育園増築と旧中津小改築事業補助金の増に伴い前年比24%の増、地方交付税は前年同額の30億7,000万円を見込みました。

主な歳出（施策）

総務関係

- ①津南中等教育学校へ町外から通学する通学費の一部助成。
- ②地域公共交通の路線バスと通学通院などの乗合タクシー事業への補助。
- ③地域おこし協力隊5名から増員支援及び集落支援員の活動支援。
- ④デジタル化に対応する人材の育成。

福祉保健関係

- ①障害者福祉では新たにグループホームが計画されており整備費を補助。
- ②緊急通報装置設置や食事提供サービスの生活支援など各種サービス継続。
- ③環境衛生関係

- ①ごみ処理場焼却施設の老朽化対策と、その他プラスチックごみの処理について検討。
- ②地球温暖化対策として「脱炭素社会」の実現を目指し、できることから取り組む。

農政関係

- ①「津南町農業振興基金」を設置し、ほ場整備と担い手、法人の経営基盤の強化。
- ②稲作：全国的に米の需要が厳しい状況の中、津南米の勝ち残りのために高品質、良食味米の生産を推進。
- ③畑作：アスパラは令和3年度から3年間県の補助事業を活用し、作付面積の拡大。
- ④畜産：家畜伝染病の防止に向け、対策の徹底と経営規模の拡大、事業継承の方策検討。



生き残りをかける津南ブランド米

林業関係

- ①「森林環境譲与税」が始まり、「森林整備推進委員会」で活用を協議し森林整備を進める。

観光地域づくり関係

- ①今年の夏は大地の芸術祭が開催され、作品設置地区で賑わい創出と関係人口構築を目指す。

- ②移住戦略を練り、必要に応じて補正予算を組む。
- #### 建設関係
- ①河川関係では信濃川上流圏域河川整備計画に基づく河川改修と整備に取り組み。
 - ②砂防関係では雪崩対策事業と中津川床固工整備、石黒川砂防堰堤事業も継続し、災害に強い町づくりを進める。
 - ③住宅関係では住宅の克雪化を進め、耐震診断と住宅改修補助事業を継続する。

教育委員会関係

- ①ひまわり保育園増改築に取り組み、より安心安全な保育園施設の構築を図る。
- ②外国人指導によるALT英語学習を進める。
- ③1人1台端末を活用しICT教育に力を入れる。
- ④文化財関係で津南町埋蔵文化財センターの校舎棟の改築工事に取り組む。

病院事業

- ①感染対策ではPCR検査器を導入したことにより、地域住民の不安を取り除くように努める。
- ②令和3年度の診療体制では新たに糖尿病・生活習慣病内科と総合診療内科外来を開設し医療ニーズに対応する。

令和3年度予算

一般会計

70億8,800万円

重点施策の主な項目

総務費

建物（宝山荘）解体工事

5,894万円

積立金（ふるさと納税他）

6,193万円

定期バス運行・地域公共交通運行
事業委託補助

7,834万円

地域おこし協力隊・集落支援員設
置事業

4,414万円

ふるさと納税事務（返戻品・送料
事務）委託料

3,000万円

民生費

社会福祉費（要援護世帯除雪、福
祉協議会、ひとり親家庭、ボラン
ティア団体等）

4,475万円

国民健康保険特別会計繰出金

8,659万円

各種障害者介護・援護給付費

2億8,367万円

保育園整備工事、監理等業務委託

4億7,232万円

後期高齢者医療特別会計繰出金

3,761万円

介護保険特別会計繰出金

2億7,544万円

老人福祉総務費（シルバー、福祉
センター、老人保護、クラブ等）

2億2,506万円

衛生費

子ども、妊産婦等の医療費

2,086万円

健康増進費（各種検診検査、体操
運動委託）

6,715万円

予防費（コロナ等ワクチン接種等）

6,271万円

町立病院補助金・出資金

3億1,277万円

津南地域衛生施設組合負担金

1億3,845万円

農林水産業費

農林県単、スマート農業機械導入
補助金

2,736万円

中山間地域等直接支払交付金

1億1,817万円

多面的機能支払交付金

1億3,862万円

農産物認証制度・土づくり事業補
助金

850万円

農業振興補助金（集積、鳥獣、経
営安定、産廃等）

4,721万円

広域家畜診療、伝染病対策事業

1,639万円

国営開発事業償還負担金

7,869万円

森林環境整備事業

1,245万円

林道補助事業

980万円

商工費

修繕料（竜ヶ窪温泉他施設）

1,405万円

移住定住促進事業

767万円

観光施設管理委託（クローブ座、
萌木、リバーサイド、駐車場等）

1,279万円

大地の芸術祭事業

2,409万円

まつり、観光協会

989万円

土木費

道路修繕事業

2,724万円

測量改良舗装工事

9,090万円

町道除雪費

1億7,004万円

除雪機械購入費

2,850万円

住宅改修補助

500万円

消防費

十日町広域事務組合消防費負担金

2億9,384万円

教育費

特別支援教育事業（複式舎）

4,745万円

外国語指導事業

1,134万円

埋蔵文化財拠点施設費（旧中津小）

1億2,100万円

ジオパーク推進事業

1,875万円

特別会計

国民健康保険特別会計

9億4,957万円

後期高齢者医療特別会計

1億3,003万円

介護保険特別会計

17億2,109万円

簡易水道特別会計

1億3,391万円

下水道事業特別会計

6億1,728万円

農業集落排水事業特別会計

3億1,351万円

病院事業会計

13億6,415万円

一般・特別会計討論

一般会計

修正動議発議

石田タマエ

令和3年度津南町一般会計予算で、ひまわり保育園増築工事に関わる歳入歳出予算を次の理由により減額する修正案を提出する。

1、ひまわり保育園増築に関して、有権者の40%を超える反対署名に真摯に向き合うことをせず、町民への十分な説明がなく理解が得られていない。

2、新型コロナウイルス感染症により、国の財政状況が厳しく、補助金や起債、交付税等が不透明である。更に、町財政の将来推計が示されていない。

3、11億円を超える事業であるにもかかわらず、議会への説明が不十分であり、事業内容や事業費の十分な精査ができていない。

4、通園道路の冬場のシミュレーションができていない。

5、わかば保育園並びに上郷保育園の統合時期や小学校との関わりについて地元と十分な協議がなされていないために現計画の定員規模の変更が生じる可能性がある。

これらの課題を抱えたまま強引に推し進めることは、住民の血税をあまりにも軽視しすぎている。

よって、令和3年度は1年間かけて十分な検討議論をする必要がある。

修正案賛成討論

栗原 洋子

原案に反対の理由として

①町に提出した3,300筆を超える署名に対し真摯に向き合おうとせず直接民主主義を無視したこと。

②コロナ禍以前に計画された保育園建設は町民の理解が得られていないと言いがたい。

「町長と語る会」から町長の熱意が感じられない。通園道路の危険性の指摘に具体的な対策を示せないこと。

③コロナ対策交付金があるにもかかわらず今後も保育室にエアコン整備は予定していないという。町長、教育長の姿勢は極めて問題だ。

④上郷、わかば保育園への説明も一貫性がなく地元住民や保護者は疑問を抱く。

⑤事業費の詳細な資料も返済計画も示さず説明も不十分だ。議会軽視、住民軽視だ。

さらに予算議決前の補助金申請問題。あつてはならないことだ。

建設ありき。業者との疑惑が表面化すれば町、関係者の責任問題だ。議員はこれを真摯に受け止め勇氣を持って賛成していただきたい。

小木曾茂子

上段地区の若い農業者は自分たちの目の届く範囲で周辺の大人たちに見守られながら子どもたちを保育園、小学校に通わせたいと願っている。津南町は、「農業立町」を標榜しており、その維持発展のために新規就農者の存在が欠かせない。彼らの願いを叶えることが必要である。今の予算では周辺部の保育園に予算が配分されておらず、不十分だと思う。また、中心部の保育園増築については、道路環境が整っておらず町のお年寄りや患者さんが危険を訴えている。とりわけ降雪時の渋滞緩和は焦眉の課題である。環境が整うまで保育園予算は1年凍結して検討をするべきである。

原案賛成討論

久保田 等

「立町の基」である農業を柱にしながら新たに教育・保育の津南町として強く打ち出していきたいという町長の強い思いが伝わる一般会計だと思ふ。

特に保育園整備のための保育園

増築は、子どもや孫たちの将来への積極的な投資で賛同する。今回の保育園増築計画では、これからの時代の様々な変化に対応していくにも、ひまわり保育園に「胎児から就学前までの子育て支援機能」を集約していく必要がある、単に未満児棟の増設だけでなく、子育て支援センターを既存の園舎に内包することで今までの課題を解消でき、安全安心に乳幼児を預けることができるだろう。7年前の津南町保育園等のあるべき姿検討委員会の答申通り、保育園だけでなく子育て支援センター、学童保育の充実に関する課題がようやく解決に向かう。これでやっと津南町で安心して子どもを産み、育てやすい環境が整い、若い子育て世代の夢と希望が叶うことである。

筒井 秀樹

原案に賛成である。商業面で言えば、なかなか前に進まないDMOに不満を覚えながらも、ところどころに稼ぐという言葉が聞こえてきた。

特に、農政の方から「販売促進」「スマート農業」等の声が聞こえ、津南町に少しづつ、新しい風が吹き始めたと感じている。

今回の予算の中で、2点の懸案事項、宝山荘の解体によって町の不良債権建物が一つ解決する。将来かかってくる解体費用が道路拡張の補償料で賄える。

次に子育て世代を10年待たせた保育園整備に予算が付けられた。保育園整備で早朝・延長・土曜・病後児保育のニーズを満たし、若い世代への負担を少しでも減らし、少しでも働きやすい環境の提供、そして、子どもたちにはそれなりに同級生がいる健全な社会環境も提供できると思う。

まだまだ、難題は多々あるとは思いますが、津南町が前に進むことに期待して賛成する。

滝沢元一郎

令和3年度予算には、大地の芸術祭、新型コロナウイルスワクチン接種、衆議院議員選挙が計上された。

新規には地域おこし協力隊員3名分、優秀な隊員の招へいとその活動に期待する。

農業では、将来の基盤整備や労働力確保のために農業振興基金が設立されたので、償還低減の制度設計を行い、早めに周知して欲しい。

観光、地域づくりでは、新規事

業創出補助、移住定住家賃補助、お試し体験ツアー旅費等が計上されたので是非確実な執行をお願いしたい。

保育園整備は、過疎債の金利が低いこと、実施設計を無駄にしないこと、さらに少子化が進むなかで、早朝延長土日保育のニーズに対応し、現代社会をたくましく生きる人材の育成のために必要と思う。

今後の財政硬直化を防ぐため、ふるさと納税など収入増に取り組み、財政調整基金10億、実質公債比率10%以下の財政運営を期待して本予算案に賛成する。

特別会計

◆ 介護保険

反対討論

桑原 義信

「介護の社会化」の名のもとに介護保険制度がスタートして丸20年となった。より多くの高齢者が介護サービスを利用できるようになったが、経済的な事情で必要なサービスが利用できないという声も後を絶たない。介護現場では慢性的な人手不足と聞いている。

今年度政府が示した介護報酬の改定率は0.7%増(国費19.6億円)である。この引き上げ幅では深刻

な人手不足の解消、過酷な労働環境の改善や厳しい経営の中で低く抑えられている賃金水準の底上げを根本的に打開するには不十分である。国庫負担を増やし保険料は低額に抑えるなど国の責任で必要な介護が保障され、安心して利用できる制度に改善していかねばならない。足りない部分は「自助」「互助」でやってくれれば介護保障に値しない。貧困な政策の転換を国に声を上げるべきである。

◆ 病院事業

賛成討論

村山 道明

今、津南病院の果たすべき役割として、外来・入院患者に安心医療を提供する、「町民の命の安全・安心の確保」を担保することである。一方で、慢性的赤字体質を改善する岐路にある。新年度からは、総合診療内科、糖尿病専門外来の取組や、訪問診療の拡充など病院使命を強く感じさせる。昨年度からのコンサルや、新年度から医療コンサルを詳細に受けることにより、更なる赤字改善につながるものと考ええる。

先の合同常任委員会での予算説明からも、職員一同が共有認識して邁進するものと期待できる。

最後に林院長、副院長は、病院

運営に対し、強い意志で取り組もうとしている。林院長の意思を皆さんに伝え、このことを踏まえ本予算に賛成する。

賛成討論

桑原 洋子

昨年6月の答申内容は具体的な提案で、取組状況は総師長からも具体的に示された。あとは職員や有識者がひとつになり、十分議論すれば経営改善もできると考える。

小さい町だからこそ国保の動向や人間ドック、各種検診など必要なデータも集めれば疾病の整理ができる。

全国自治体病院協議会の経営診断でも指摘しているように、病院事業の運営は一般会計の財政運営と異なった視点で取り組む必要がある。町の将来を見据えながら町を挙げて取り組んでいくことが大事だ。(株)麻生も指摘するように専門知識のある職員を今後常駐していくことが喫緊の課題だ。1月の経営診断にじっくり取り組み、これ以上委託する必要はないと思う。国の医療政策でベッド数が減らされ十日町・津南地域の医療資源も限られている。今までの取り組みを評価。今後も町を挙げて経営改善に取り組み、住民の命と健康を守っていただきたい。

総括質疑

今後の企業誘致や定住策は

滝沢 元一郎

問 町移住定住推進協議会の構想は。

町長 具体的な戦略の立案と実行する組織である。

問 燃えるごみ焼却施設に関する検討とは。

町長 その他プラスチックごみの処分先とコストを検討、有機物減容装置はその信頼性について環境省や県の知見を得ながら検討する。

問 新たな企業誘致に対する支援とは。

津南中等教育学校の存続を

石田 タマエ

問 津南中等教育学校を存続するために、まずは、魚沼地域の連携・協議が必要。また、今後どのような中学校の志願者を増やすか。町外の高校に通う町内の生徒への支

援も必要。

町長 県が2月に有識者会議で検討している。その報告を待つて近隣自治体と協議していく。移住定住策等も絡めながら、県外の志願者を増やしたい。町外へ通う生徒の支援策は、内部で検討していく。

保育園予算に関して問う

小木曾 茂子

問 ①送迎時の渋滞緩和策と予算について

②増築予算の返済計画を示すこと。旧中津小の改築は毎年1、2千万円の増額を繰り返している。

③災害時の未満児対応はどうか。

④公設民営化の予定は。

町長 ①冬季の調査は必要。側溝にふたをして道幅の確保を予定。

②次回の広報で返済計画を示す。

③調理員、用務員が未満児避難の補助を行う。

④胎児から就労まで町が責任をもつて育てる。民営化のプランはない。

議決前に委託業者 承知か

栗原 洋子

問 保育園事業費で補助金申請事務費、1千万円が上がっている。なぜ外注か。さらにこの申請事務費について、2日の合同常任委員会の実施設計を行った「ワシツ設計」から東京の業者に委託し協力いただくことを考えていると説明を受けた。議決前に業者が決まっていたように取られかねないが、町長、教育長は承知していたのか。

町長 地中熱を活用した補助金であり、専門的知識や解析等を有するので外注とした。業者については確認する。

教育長 業者名を言ったか記憶が定かでない。

メールマガジンの配信は

筒井 秀樹

問 商工費のメールマガジン配信にどう取り組むのか。

町長 LINEで、津南町出身者等に発信をする。

問 今期、来町のお客様は、濃厚なファンの可能性が高い。個人情報確保は。

観光地域づくり課長 個人情報確保の必要性は感じている。

問 町内商工業への施策は。

町長 就職支援策等がある。大地の芸術祭も期待している。

問 町内業者は利用を切望している。利用を促す情報分析はどうか。

観光地域づくり課長 どうできるか、一緒に考えていきたい。

マイナンバーカードの取得は

桑原 義信

問 菅首相はデジタル庁新設を進めている。マイナンバーカードは2022年度末までに国民が取得することを目標とし、健康保険証としての利用、免許証との一体化も計画している。取得をどう進めるのか、強制はしないのか。

町長 マイナンバーカード交付率は14.2%で国県の平均を下回っている。普及、促進を図るため引き続き広報活動していく。

税務町民課長 町から強制的に進めることはしない。

陳情・発議

「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書と最低賃金の改善と支援の拡充を求める意見書の提出について
(全員賛成で可決)

【趣旨】

厳しい日本経済に感染が追い打ちをかけ、日本経済は深刻な危機に直面している。コロナ禍でライフラインを支え続けている労働者の多くが、非正規雇用労働者で最低賃金近傍の低賃金で働いている。この難局を乗り越えるには賃金底上げと、地域間格差をなくすことがこれまで以上に重要になってくる。以上の趣旨により次の項目の早期実現を求める意見書を提出する。

(1) 政府は労働者の生活を支えるため最低賃金1,500円以上をめぐらすこと。
(2) 政府は最低賃金法を全国一律最低賃金制度に改正すること。
(3) 政府は最低賃金の引上げができ、経営が継続できるように中小企業への支援策を最大限拡充し、国民の生命と暮らしを守ることを。

令和3年度 予算採決結果

議案番号	件名	採決結果
議案第16号	令和3年度津南町一般会計予算	賛成多数で可決 (賛成9 反対4)
議案第17号	令和3年度津南町国民健康保険特別会計予算	賛成多数で可決 (賛成11 反対2)
議案第18号	令和3年度津南町後期高齢者医療特別会計予算	賛成多数で可決 (賛成10 反対3)
議案第19号	令和3年度津南町介護保険特別会計予算	賛成多数で可決 (賛成10 反対3)
議案第20号	令和3年度津南町簡易水道特別会計予算	全員賛成で可決
議案第21号	令和3年度津南町下水道事業特別会計予算	全員賛成で可決
議案第22号	令和3年度津南町農業集落排水事業特別会計予算	全員賛成で可決
議案第23号	令和3年度津南町病院事業会計予算	全員賛成で可決

人事

津南町教育委員会 教育長任命の同意
(賛成多数で同意)



島田 敏夫氏 (十日町市)
平成31年より
十日町市教育
委員会嘱託指
導主事

津南町教育委員会委員任命の同意
(賛成多数で同意)



太平 義弘氏 (中深見)
平成30年より
津南町教育委
員会委員

監査委員の選任同意について
(全員賛成で同意)



藤ノ木 勤氏 (太田新田)
平成29年より
津南町監査委
員

自治功労者表彰

長きにわたり町議会議員として地域の振興に尽力された議員に対して、2月9日に全国町村議会議長会より自治功労者表彰が贈られました。

【町議会議員15年在職功労者】

津端 眞一 議員



表彰を受けられた津端眞一議員

町政を問う!!?

一般質問 (13議員)

- 1 草津 進 議員 (8ページ)**
 - 1. 地球温暖化と異常気象について
 - 2. 町有財産の活用について
- 2 津端 眞一 議員 (9ページ)**
 - 1. ごみ処理施設について
 - 2. 町有財産である旧農政局跡地について
- 3 久保田 等 議員 (9ページ)**
 - 1. 現在のごみ処理施設(焼却施設)の代替となる、低コストで低公害な資源再生技術「有機物減容再生セラミック製造装置E RCM」の導入について
 - 2. 飲食店・宿泊施設にターゲットを絞った支援対策について
 - 3. 婚活支援対策について
- 4 風巻 光明 議員 (10ページ)**
 - 1. 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種について
- 5 関谷 一男 議員 (10ページ)**
 - 1. 大雪警報が出されたときの除雪体制道路確保について
- 6 石田タマエ 議員 (11ページ)**
 - 1. 保育園建設費を新年度予算に計上することは、提出者として反対署名をどのように受け止めての提出か
 - 2. へき地老人タクシー補助の再考を
- 7 桑原 義信 議員 (11ページ)**
 - 1. 災害救助法について
 - 2. 担い手確保について
 - 3. 新型コロナウイルス対策について
- 8 小木曾茂子 議員 (12ページ)**
 - 1. 核廃棄物受け入れ及び原子力災害避難受け入れに関して
 - 2. 生活保護申請時の扶養照会の見直しを
 - 3. 災害復旧について
 - 4. 5G導入について
- 9 桑原 洋子 議員 (12ページ)**
 - 1. 保育園増築総事業費に巨額の予算、住民の声に背を向ける町長の姿勢を問う
 - 2. 地域に住み続けられる医療を
- 10 村山 道明 議員 (13ページ)**
 - 1. 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種について
 - 2. 特別栽培米(認証米)の取組見直しについて
 - 3. ひまわり保育園増設について
 - 4. (社)つなん福祉会補助及び委託契約について
- 11 筒井 秀樹 議員 (13ページ)**
 - 1. SDGs「持続可能な開発目標」に津南町としてどのような取組をしていくのか。
 - 3. デジタル化に伴う人的ミスについて
- 12 滝沢元一郎 議員 (14ページ)**
 - 1. 集落の維持と営農の継続について
 - 2. DMOとオフィスについて
 - 3. 芸術祭でのPRについて
- 13 恩田 稔 議員 (14ページ)**
 - 1. 第6次津南町総合振興計画及び第2期津南町まち・ひと・しごと創生総合戦略について

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

地球温暖化と異常気象対策は

町長 森林は多くの役割を果たしている。町は平成24年度から津南町森林組合と共に、

のように啓発していくか。

問 温暖化はあらゆる産業に影響が出ている。対応として森林、林業の果たす役割をどのように啓発していくか。

一 森林、林業に関心を

進めている。

町長 町では移住定住戦略セミナーを開催し、住民、議会、職員から移住に対する課題認識をしてもらった。その後、役場内部で移住定住戦略プロジェクトチームを作り検討を進めている。

問 全国的に起こっている気象災害、自然災害に対応するには、人口減少を食い止め、若者の定住が必要であり、その具体策は。

町長 町では移住定住戦略セミナーを開催し、住民、議会、職員から移住に対する課題認識をもらった。その後、役場内部で移住定住戦略プロジェクトチームを作り検討を進めている。

問 全国的に起こっている気象災害、自然災害に対応するには、人口減少を食い止め、若者の定住が必要であり、その具体策は。

一 人口減少に歯止めをかける対策が課題



草津 進 議員

問 町の中心地、北陸農政局宿舎跡地の利用目的はあるか。

町長 新年度において宝山荘の解体事業を実施する。津南駅裏駐車場や北陸農政局宿舎跡地等の大きな空地がある。町有地の有効活用は課題であり、民間活

力の活用も視野に入れながら検討する。現時点としては活用の予定はない。

問 町の中心地、北陸農政局宿舎跡地の利用目的はあるか。

町長 新年度において宝山荘の解体事業を実施する。津南駅裏駐車場や北陸農政局宿舎跡地等の大きな空地がある。町有地の有効活用は課題であり、民間活

力の活用も視野に入れながら検討する。現時点としては活用の予定はない。

一 塩漬け状態の町有財産の活用を

苗場山麓・竜神の森プロジェクト協議会により、地球温暖化対策としてカーボンオフセットに取り組んでいる。今後

も本事業を推進し企業からクレジットを購入してもらい、森林整備を行っていく。健全な森を育て、地球温暖化対策に努め津南町のイメージアップを図っていく。



温暖化防止に貢献 (左: 着手前、右: 完了後)

ごみ処理に熱分解施設導入の考えは



津端 眞一 議員

ごみ処理にプラスチックも処理できる熱分解施設導入を検討ができないか。

問 2年前から熱分解施設導入を検討提案してきたが、当初は燃焼施設ということで見送られた。環境省で熱分解施設と認められ、法的なことはクリアした。導入の考えは。

町長 提案の有機物減容装置は一般ごみの処理過程が明確であり、他の自治体の例がない。安全安心、継続可能な処理ができるかどうか、環境省、県に問い合わせ見極めた。現段階では積極的に進める考えはない。

旧農政局跡地の活用について

問 旧農政局跡地は一等地であり、町長の進める子育て支援、移住定住促進として、宅地分譲を進める気はないか。

町長 移住定住促進に有効であるが、若い世代が購入するかは不明である。新年度は移住者への家賃補助や空き教員住宅の活用を検討する。農政局跡地利用は、民間活力を含め検討したい。



無公害で低コストのごみ処理技術
次世代型
熱分解廃棄物
処理装置
ERCM

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

地球に優しく、人に優しい装置

「有機物減容再生セラミック製造装置」の導入検討を

問 現在のごみ処理施設（焼却施設）の代替となる、低コストで低公害な資源再生技術「有機物減容再生セラミック製造装置ERCM」の導入の検討について問う。

現在の地球環境に目を向けると温暖化、大気汚染、酸性雨など様々な問題が生じており、従来の焼却という技術のままではこれらの問題を解決するどころか一層深刻な状態に引き起こしかねない。この装置は電子を効果的に用いた一歩進んだ有機物処理の技術を提供する。また、省エネルギー・省資源・低コストを実現し、地域周辺の自然環境の保全を支援する「地球にやさしく、人に優しい」資源リサイクル装置である。業者が自治体での稼働実績を作るために6億円近くかかる装置を無償で設置



久保田 等 議員

してくれると言っている時に導入を検討してはどうか。

町長 メカニズムが不明確でもあり他の自治体での導入実績がないことから「安心・安全・安定」的に一般廃棄物の処理が可能かどうかの研究を進め、導入の可否について慎重に検討する必要がある。

飲食店・宿泊施設への支援対策は

問 コロナ禍で一番打撃を被っている宿泊施設・飲食業にターゲットを絞った支援策は考えているか。

町長 ひまわり広場、大地の芸術祭等に訪れたかたを町内の飲食店や旅館へ誘導促進する事業等を検討したい。

婚活支援は

問 これからはオンラインでの婚活や、新しく始まった「移住婚」の取組を検討してはどうか。（自治体単位で申請）

町長 結婚適齢期の意識対策が出来るような施策を検討する。

移住婚とは？

都市から地方に移住を希望したい独身者に結婚相手と移住先を同時にサポートする取組が「移住婚」です。地方での移住後の自然と共に子育て環境を重視したライフスタイル等の選択肢が有る事を都市部在住の独身者に提案します。

ワクチン接種を町民に明確に示すべき

町民全てが接種を受けられる施策を

問 コロナ感染症が発覚してから1年が経過。日本ではワクチン承認の遅れにより、ようやく接種の概要が提示されたところである。順番、場所、予約、問題点など町民に広く伝えるべきだが。

町長 順番：医療従事者↓65歳以上の高齢者基礎疾患のある人と高齢者施設の従事者↓それ以外の人の順番で計画的に接種を行う。場所：集団接種は午後から文化センター1階の特設会場と津南病院に委託、個別接種は町内医院と高齢者施設内で行えるように進めている。予約：スマホやパソコンの他、電話予約など複数の方法を検討中。また接種管理のシステムの導入を行う。



風巻 光明 議員



コロナワクチンの集団接種会場となる文化センター1階大ホール

福祉保健課長 問題点・ワクチンはサテライト型施設へ町が保冷し輸送する予定だが、供給時期、量とも現在不透明な状況。超低温冷凍庫は3月末に入ってくる。

問 接種率は70%程度と報道されているが、限りなく100%に近づける努力が必要だ。そのため会場への送迎又は出向いての接種、また高校生や勤めのある人に対し土日の接種も行うよう提案する。

福祉保健課長 送迎バス、休日接種は検討する。

問 副反応や後遺症対策で特に妊産婦や妊活者に対し接種の可否を明確に町より通知するべきだが。

福祉保健課長 様々な情報を示して接種の判断をしてもらう。後遺症は国の予防接種法に基づき健康被害救済制度で救済される。

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

大雪警報時の夜間の道路確保は

緊急車両の道路確保は

問 大雪警報が出された夜間の道路。除雪が不十分のため緊急事態が発生しても車両が現場に向かえない状態が起きていることをどう考えるのか。

町長 緊急確保路線は集中的に除排雪をし、夕方6時から早朝6時までに10センチ以上の積雪が見込まれる場合、県が委託した業者に待機指示が出され、緊急確保路線以外の路線でも速やかに対応できる体制で待機している。異常降雪による緊急車両等、通行不能により通報を受けた場合でも昼夜を問わず対応する。町道路線については、限られた人員と機械をフルに活動し、重要路線やバス路線等を優先的に作業を実施、緊急事態で通報を受けた場合、可能な限



関谷 一 男 議員



懸命な除雪作業

り対応している。

問 夜中に出勤や帰宅をする職業の人もあるが、「夜間の道路状況で出勤や帰宅ができず、つくづく嫌になった。できれば津南を出たい。」という話も聞くがどう考えるか。

町長 短期間での大雪では皆さんの切実な思いが寄せられた。雪の中で生活する苦労を改めて感じた。きめ細かく頑張っているつもりだが、雪に追いつかず迷惑をかけたこともあった。しかし、それ以上にすばらしいところもたくさんあるなと思う。ただ、人が増えるよう町としては雪対策を一生懸命していきたい。

公共交通を補完する施策が必要

保育園統合の説明責任を



石田 タマゴ 議員

問 町長は住民が納得できる説明責任を果たしていない。3,400の住民の署名に対してどのように考えるか。また、現在混合保育を実施している上郷保育園・わかば保育園は統合しないで他の保育園を先に統合するのはおかしい。

町長 将来を見据えて今回の整備が必要だ。

教育長 上郷・わかばの理解を得たうえで、早期に混合保育を解消したい。

公共交通の不備を補完する施策が必要

問 年を取っても住み慣れた地域で暮らし続けるためには移動手段の確保が最優先だ。現在の公共交通は高齢者にと

っては利用しにくく、年金からタクシーに支払うウエイトが年々上がっている。

現在の「へき地老人への福祉タクシー補助」制度を公共交通の不備を補う手段として再考するべきではないか。

福祉保健課長 現在のへき地老人への福祉タクシー補助制度の該当者は民生委員に委ねている。現状は、通院や買い物に使っているが、あくまでも建前は緊急時である。

問 福祉はお役所仕事であってはならない。もっと寄り添うべきだ。

町長 公共交通のストレスは議員時代から承知している。タクシー補助の該当者を増やしたときにタクシー会社で供給できる体制にあるか等を検討しなければならぬ。



タクシーが行き交う津南病院

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

農業、除雪等の担い手確保を進めよ

若者を受け入れる 思い切った施策を



桑原 義信 議員

問 新規就農者と同様に親元に戻り就農する後継者等に支援を進め津南農業を守る施策は。

町長 平成24年から青年就業支援事業等活用し、経営準備型に11名、経営開始型に18名うち親元就農が9名である。新規就農者の受入れは農業公社が中心となり、平成7年から30名を受け入れ、20名が町内で就農している。農業法人は平成27年、令和2年で10法人増加し法人への就農も増加している。就職による新規就農者への確保も推進していく。

問 津南は家族農業も多く、そこを守るような支援事業はないか。

農林振興課長 現時点は直接支払い制度などで対応。新たな施策は意見を頂き検討を進めたい。

問 移住、定住を進めるためには、地域の保育園や学校をなくせば若者は戻ってこないが。

町長 保育園、小学校が近くにあるのは移住者には魅力の一つと思うが、多様化する保育ニーズ、保育環境の整備を進めることも大切である。特色のある教育が移住定住に繋がると考える。

問 除雪要員の高齢化が顕著になっている。栄村の雪害対策救助員制度に学び、制度を作り安心して暮らせるようにすべきだが。

町長 他の自治体の事例や除雪関係者の意見を参考に雪処理を検討する。



雪下ろし要員も高齢化、新たな担い手は。

避難計画、災害復旧はどうなっているか。



小木曾 茂子 議員

核廃棄物や原子力災害被災者受入れは

問 2月1日の新聞報道で核のごみ受入れについてわからないと答えたのは何故か。議会では放射能汚染土の受入れにも反対の意見書を国に上げている。議会の意思は明らかではないか。

町長 担当者が回答したもので、受け入れるつもりはない。
問 東電の不祥事が続き事故が現実的になってきている。避難者の受入れについて3,600人は過剰ではないか。
総務課長 再検討が必要。小千谷市と協議を考えなくてはならない。

生活保護申請時の扶養照会の見直しを

問 コロナ禍で生活困窮者の

自殺者が増えている。困窮者を救うためにネックとなっている扶養照会の見直しを。
町長 扶養照会を条件に申請を退けることはしない。民生委員の立合いも求めない。

信濃川災害復旧工事について

問 堤防かさ上げによらず、集団移転を希望している住民がいるが対処は。

町長 現在の制度では希望に沿うことができない。

問 3度も洪水に見舞われ土地も狭くなる住民の苦悩に沿った解決を望む。

建設課長 地元の意向をきいて、事業をすすめていく。

5G導入について

問 ギガスクール構想の現状はどうか。

教育長 小中学校の全児童生徒にタブレットを配布した。5G対応ではない。弊害が出ないよう配慮している。



上郷橋から下足滝集落を見る

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

住民に背を向ける町の姿勢を問う



栗原 洋子 議員

通園道路は非常に危険、安全対策は

問 ひまわり保育園への通園道路で12月大雪の朝、病院通りは渋滞した。病院通り、郵便局からの南原線は車幅も狭く非常に危険だ。具体的なシミュレーションを問う。

町長 送迎車両が増加しても通園経路を指定し送迎時の待ち時間短縮などにより、渋滞を回避し安全を確保できる。

町道改良では、地権者、道路の形状を考えると大幅な改良は困難。側溝部分に蓋をして歩道の安全対策等を実施する。大雪時には保護者に安全確保について特段のご協力を仰ぐことも必要。

問 「町長と語る会」は町政説明会だった。1時間15分にも及ぶ説明に「質問させないた

めに制限するのか。」の声もあり、内容を公表すべきだ。

町長 質問にはすべて真摯にお答えさせていただいた。

問 匿名での意見書を提出した。「建設費は妥当か、様々な圧力があるのでは」と疑問を抱く。」などに答えていただきたい。なぜ3千筆を超える署名も無視し強引に進めるのか。建設業界の動きがあると聞く。警鐘を鳴らしたい。

町長 広報紙で説明したい。私自身いかなる団体からも圧力を受けている認識はない。

経営分析なぜ更に委託か

問 調査分析結果を受け、更に(株)麻生に990万円で委託する理由は。

町長 助言、データ提供などを頂きたい。



伐採されたひまわり公園の林

ひまわり定員 250+αではないのか

問 定員について、当初1園270名規模で計画、最終で250名とした根拠は何か。国立社会保障人口問題研究所が平成30年3月に発表した推定人口によると、津南町は令和8年には、0歳から4歳児総数227人。更に5年後では209人である。さらに、移住転入を許容したキャパシティ10人枠を保育面積に算定された設計としたと伺った。また、当初計画定員270人規模工事費10億円が既成事実化となったのではないか疑念をもつが伺う。

答 算出根拠は、国立社会保障人口問題研究所の将来人口データを基に近年の出生数も勘案し、町独自の係数を掛け、出生予想数や移住定住による期待値を踏まえて最終的に確定した。また、10億円ありきで実施設計を進めてきたわけでもない。削減可能なものは英断をもって行い、園児に必用な施設整備は惜しまない、妥協しない、可能な限り実現する思いで設計書を作り上げてきた。



村山 道明 議員

福祉センター1階の財産貸付処理は

問 高齢者生活福祉センター管理委託先、(社)つなん福祉会との管理委託金の詳細と1階約450㎡の町財産部分の貸付料の処理を伺う。

町長 平成18年センター条例によつて指定管理者へ移行して以来、使用料は徴収していない。委託料は、居住者見守り支援の人員費、冷暖房費、水道光熱費、建物修繕管理費用として支払っている。



ひまわり公園立木伐採

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

豪雪を町の資源にする施策を

問 「第六次津南町総合振興計画」の中にも、SDGsの言葉の片鱗が見られるが、この持続可能な開発目標に、町として、どう取り組んでいくのか。

町長 一例を挙げるとスマート農業の推進、質の高い教育、インフラ整備で住み続けられるまちづくりや、津南病院運営の健全化など、町民のために健康と福祉を充実をさせる施策を計画に掲げた。

問 国策で少なくとも2030年まではSDGsの流れは続く。津南町の優位性として、冬になれば大量の資源が降ってくる。H₂O、雪である。雪は水素と酸素に分解できる。



筒井 秀樹 議員

分解に必要なエネルギーは津南町最大の利点である地形の落差と豊富な水資源で解決できる。水資源で発電し、水素を生成し、冬場のハウス栽培の燃料に、さらに水素発電で町内の融雪といったエネルギー立町、再生エネルギーの地産地消も可能ではないか。

町長 水素エネルギーについても大変興味があるので私も勉強していきたい。全国各地では他の収入も得るといふ事例がある。何ができるか検討してみたい。

デジタル化に伴う人的ミスについて

問 デジタル化が進むと効率はあるが、人的ミスが多くなる傾向がある。庁舎内のチェック体制はどうか。

町長 人為的ミスをゼロに近づけるため職員のスキルの向上を図り、確認を徹底していく。



一番の田舎で最先端を

新たな地域づくりと職員の参画を



滝沢 元一郎 議員

集落の維持と地域づくり

問 集落の維持、営農継続には、集落の条件に則した将来計画が必要で、町職員も参画した話し合いの場を設けてはどうか。

町長 人口減少や高齢化が進む中で直接支払い制度、人農地プランなどの利活用、集落の営農計画や担い手、基盤整備、省力化、スマート農業導入などの話し合いは重要で町職員もできるだけ参画したい。新年度は鹿渡と鹿渡新田をモデルに集落サポート人材育成事業に取り組んでいく。

問 観光地域づくり法人設立の遅れと地方創生テレワーク交付金の活用が当町で可能なか伺う。

町長 コロナ禍において観光のあり方にも変化がある。D



津南中等教育学校生 未来への提言
(津南妻有学発表会)

MOは民間の参画、協力事業者や人材、企業版ふるさと納税などの財源、地域活性化の取組などまだ熟度が高まっていないが新年度中には目途をつけたい。津南ツーリズム商品などの造成を開始する。町内の未活用施設のある地元と合意形成に取り組み、テレワーク整備を検討する。また、DMO推進室に地域おこし協力隊員を配置する。

問 大地の芸術祭に際し、案内所周辺の空店舗で津南町PR立ち寄り空間の創出を。

町長 3月16日企画発表会を開催、津南中等教育学校で作品展開、苗場酒造に総合案内所、大割野商協と関連事業の協議をするので提案したい。

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

第6次総合計画・総合戦略について



恩田 稔 議員

明るい未来に繋がる計画か

問 総合振興計画や総合戦略は町の将来を決定する重要なものと認識している。それぞれ今回示されたが、責任の所在が明確でない計画や戦略が、実現可能なのか疑問である。第5次総合振興計画の目標に対してどのような成果が出たと考えているか、また検証したのか。

町長 目標に対しての検証は毎年実施している。成果については、農業、健康づくり、介護事業、環境政策などに表れている。

問 町は観光地域づくり法人(津南版DMO)の設立を目指していると思うが、総合振興計画には十分な説明がされていない。目指す5年後の形をどのようにしたいのか、町民の

理解を得られる構想を伺う。

町長 津南町には魅力的な資源がたくさんあり、活用策が必要である。町外者との大切な繋がりをもう一步進め、ファンを増やすことにより、地域の課題を解決したい。それには、苗場山麓ジオパークに蓄積された文化や歴史、また豪雪地ならではの生活を滞在型プログラムとして、津南ツーリズムを創出したい。

問 法人設立の時期は。

町長 令和3年度は、人材、財源、体制、意思決定機関等を設立検討委員会に提案し、設立の目的を付けたい。



雪国の暮らしを体験できる滞在型プログラム

委員会レポート

総文福祉常任委員会

町教育委員会関連で津南町スポーツ少年団代表者との懇談会

とき 1月29日(金)

ところ 役場第一委員会室

内容 スポーツ少年団の代表者と懇談会を開催しました。スポーツ少年団には、剣道、柔道、野球、サッカー、ミニバスケットボール、ジュニアバドミントン、クロスカントリースキー、アルペンスキーの8つの種目があり、小中学生の体力づくり、スポーツマンシップなどを身に付けるように指導しています。(参加された代表者のみ記載)

柔道

代表者 樋口雅彦さん

子どもたちに体力・精神力・礼儀作法を、柔道の練習や大会に参加し身に付けてもらう。

運動をする子どもが減ってきている。中学生に学校授業で本格的な柔道を指導して欲しい。

野球

代表者 篠原邦彦さん

保護者の夜の送迎負担があり、スポーツの参加が少なくなってきた。特に津南小から遠い地区の子どもが少ない。

ミニバスケット

代表者 福原茂宝さん

津南中の女子バスケット部がなくなってしまうが、現在数人の女子が入っている。

懇談会を終えて

代表者は、スポーツに親しむ子どもが少なく、また体力の低下が目立ち心配しています。核家族化で送迎をする親がいないため問題です。学校の先生方も活動を見に来て欲しい。など要望があり当局に届けていきます。(風巻光明)



柔道で心身ともに鍛錬

産業建設常任委員会

津南町農協・農業委員会との懇談会

とき 1月25日(月)

ところ 役場大会議室

内容 農協からは令和2年度の実績、令和3年度の重点方針、計画の説明を受けました。農業委員会からは、令和3年度の稲作、畑作、畜産について、それぞれの振興策の説明と町への要望を受けました。また、スマート農業等の進捗状況について、農林振興課長より情報提供がありました。続いて津南町農業の重点施策であるほ場整備の推進について①担い手育成、新規就農者受入れ及び法人化推進②需要に応じた米の生産と園芸品目1億円産地育成について意見交換がなされました。

懇談を終えて

人口減少や食の多様化による米離れに加えて、昨年はコロナ禍の影響から米余りが深刻になっていますが、津南米の販売は順調で大変ありがたい。また、令和3年度予算にはほ場整備に向けての、農業

振興基金の創設は、長年の要望であり期待します。(恩田 稔)

道路除雪状況調査

とき 1月25日(月)

ところ 町内各所

内容 町内道路除雪状況調査を行いました。

状況調査を終えて

今年の降雪は、集中的に豪雪となり、除雪が一時大変な時期もあり、除雪隊員には感謝するところでした。

当日は晴天であり道路についてはどの路線も問題ありませんでしたが、集中的な降雪のため雪庇の危険箇所が見受けられました。特に所平地内では法面が高く危険性を感じられましたが、建設課での雪庇落としの計画があるとのことでした。

他の路線でも危険箇所が見受けられ安全対策を願うところですが。

(津端真二)



県道法面に張り出した雪庇(所平地内)



町民登場

卒業証書に54名の
名前を心をこめて
書きました



風巻 ^{ゆりえ} 由利江さん(押付)

3月2日、町立津南中学校で、卒業式が行われました。54名の卒業生に贈られた卒業証書に氏名を書いたのは卒業生の家族でもある、津南駅前の雪とほたるの宿「雪国」の女将さんのお一人、風巻由利江さんでした。いきさつをお聞きました。

「卒業式の2週間ほど前に先生から、今年は制約が多くて、卒業生に何もしてあげられない。せめて卒業証書に由利江さんの文字で名前を書いていただけませんか、と依頼がきました。この家の子も卒業するので、最後の機会と思いお引き受けしました。皆さんのお名前をいただいて、どんな文字にするか一文字一文字

検討をしました。それに時間がかかって大変でした。証書に書くときには手が震えて困りました。」おかげで子どもたちには一生の宝物ができました。

由利江さんはまた、「よさこい津南」の代表として、町のイベントには欠かせない存在です。しかし、ここ一年余り出番がありません。「このごろは若い人たちが子ども連れでがんばってくれています。」と嬉しそうにお話をされました。

今は一家を挙げて英会話の上達に取り組んでいます。雪国名物「鯉こく」を英語で紹介するのに悪戦苦闘中だそうです。このバイタリティーこそ次世代に伝えたいですね。

6月議会告知

第2回定例会は6月16日(水)に開会予定です。お気軽に傍聴においでください。



我が家の防災セット

2011年3月11日の東日本大震災、福島原発事故から10年が経過した。それは同時に3月12日の長野・新潟県境地震の10年目にも当たっている。

思い出してみると、東北での地震や津波の衝撃の映像がテレビ画面で次々と流され、興奮したまま布団に入って間もなく、再び強い地震に振り起され、家族みんなで固まって、一夜を過ごしたものだ。上郷地区の被害が甚大で、大家族はばらばらに避難場所へ過ぐす場合もあった。今後とも、地域での防災訓練を実施し、各戸でも防災の備えを忘れずにいたい。

(小木曾茂子)

編集後記

Editor's
postscript